

三年生健闘する 就職内定率九六・一％

卒業を控えた三年生の生徒の進路先は、震災後の不景気にもかかわらず続々と内定をいただいています。これも、一学年の頃から毎週行っている総合学習で自分を見つめて将来を考え、三年生での進路ガイダンスに真剣に取り組んできた成果だといえます。

現在も就職もしくは進学に向けて進路活動が続いている生徒がいます。一日も早く吉報が届くことを祈ります。

主な就職先

A G C エンジニアリング、出光プラントック、デンカポリマー、協和発酵ケミカル、住化ロジステイクス、日本板硝子ビルディングプロダクツ、理研電線、校和テクノス、せんだう、ふるさと苑、清流園、鍵田病院、辰巳病院 他

主な大学・短大の進学先（決定率 八九・五％）
二松学舎大、千葉商科大、淑徳大、了徳寺大、明海大、千葉明德短大、帝京平成看護短大 他

主な専門学校への進学先
国際理工情報デザイン、千葉県自動車総合大、学校、千葉調理師、東洋美術、日本工学院、東洋理容美容、市原看護、市原高等技専 他

予餞会行われる

一月三十一日は、三年生の学年末試験の最終日でした。試験が終了してホッとしたりひとときに生徒会主催の予餞会が昨年度に引き続き行われました。



開会に先立ち学校長のあいさつで突然、三年生に対するインタビューが始まりました。いきなりマイクを向けられた生徒は戸惑い照れながら



らも質問に答えていました。

そのあと、生徒会本部役員たちのダンス、吹奏楽部の演奏、サッカー部の歌、野球部のコント、教職員有志によるパフォーマンスなどが続々と行われました。中

でも若手教職員によるEXILEのパフォーマンスではステージと観客である生徒が一体になって盛り上がりしました。

そして、最後は三年生教職員によるスライドによるメッセージと歌で楽しい会を締めくくりました。



緊急時の避難方法を学ぶ

十一月二十二日に避難体験が行われました。これは火災や地震を疑似体験し、緊急時に落ち着いて行動できるようにするためのものです。



二年生が無害で咳き込まない煙を充満させた通路を避難する訓練、三年生が起震車に乗り大地震から身を守る訓練を行いました。

大災害は起こらないことが望ましいのは言うまでもありませんが、もしもの場合の生徒たちの安全もしっかり確保できるように心掛けています。

通学路の清掃をしました

日頃から生徒及び教職員が利用している通学路をきれいにしようとして、一学年が十一月十七日に二年生が一月三十日に通学路の清掃を行いました。日頃から地域の皆様が美化に取り組みされている道でもあり、集められたゴミは予想を下回る量でした。



しかし、ゴミの中には生徒が通学途中に捨てたのではないかと思われるものもあり、反省させられる点多々ありました。

通学路清掃を行う機会はまだまだ多くはありませんが、今後とも学校とその周辺の美化に気配りができるような教育を進めて参ります。

体験を通じて進路を夢見る

将来の進路を考えるため、専門学校等から講師を呼び様々な分野の授業体験を行いました。二年生が一月十九日と二十六日、一学年が一月二十六日と二月二日と二週間連続の日程で行いました。



分野、計二つの分野の授業を必ず体験するというもので、自動車、お菓子作り、服飾デザイン、美容やエステ、マルチメディア、ホテル等のサービス、芸術等多くの分野の授業が開講されました。



前期選抜結果発表

生徒たちは目を輝かせながら普段の学校とはひと味違った授業を体験し、自分の将来の職業に思いを馳せていました。

二月十四日・十五日に前期選抜（入試）の検査がありました。今年度は百八十三名（倍率一・九一倍）と多くの志願者を迎えることができました。これも地域の皆様のおかげと感謝しております。



そして、二月二十一日に九十六名の入学許可候補者内定者（合格者）を発表いたしました。合格者は、春の訪れよりも一足早い十五の春を喜び合っていました。

さて、後期選抜の検査は三月一日に行われます。数多くの中学生に志願していただけることを願っています。

学年末の行事

市原緑高校の学年末の主な行事は、次のようになっています。地域の皆様には御迷惑をお掛けすることもあるかと存じますが、御協力よろしくお願い申し上げます。

- 3・1（木）後期選抜（入試）
- 3・7（水）入学許可候補者発表（合格発表）
- 3・9（金）卒業証書授与式
- 3・12（月）学年末試験（一・二年生）
- 3・15（木）入学許可候補者説明会
- 3・23（金）終業式

「緑の風」のバックナンバーは市原緑高校のホームページで御覧ください。
<http://www.chiba-c.ed.jp/chiharami-dori-h/>